

# NEWS +

## 廃棄物処理施設の火災防止ソリューション「Spark Eye」で協業 イーアイアイ、あいおいニッセイ同和損害保険

モバイルバッテリーや電子タバコなど、リチウムイオン電池を使用する製品の普及に伴い、廃棄物処理においてリチウムイオン電池に起因した火災が頻発している。廃棄物処理施設の火災延焼を防止するシステム「Spark Eye（スパークアイ・登録商標）」は、AI画像認識技術で廃棄物処理におけるリチウムイオン電池の発火を早期に検知する。

本システムは、カメラ映像から火花や火を0.05秒で自動検知する。アラートの発報や自動散水設備とも連携可能であり、ガラスやアクリル越しでも設置が可能である。また、検知データ（検知画像、日時、検知開始時間、終了時間等）の可視化もできる。2020年6月の販売以降、

多様な廃棄物処理施設を対象に導入実績があり、導入先において火災延焼『ゼロ』実績が得られ、経済産業省のI-T導入補助金2024の支援ツールに認定されている。

装置を開発したイーアイアイは、あいおいニッセイ同和損害保険と2024年より協業を開始した。あいおいニッセイ同和損害保険の代理店が、地方自治体等の保険契約者等に対して同製品の導入提案を行い、イーアイアイは保険契約者等に同製品を優待価格で販売する。設置施設は廃棄物処理受け入れ停止に至る火災延焼が防止できる。

◎問い合わせ先：イーアイアイ（03・3518・9797、E-Mail: info@eii-net.co.jp）

### ■システム構成図/機能

